

第3回懇談会の主な意見等

＜学校の計画について＞

- 浮間中は敷地が広く素晴らしい学校だが、体育館までの動線など、不便な点も気になった。
- 校舎改築の効果で生徒数が増えた場合、さらに狭く感じるのではないか。
- 西宮中は災害時に医療を担っていると認識している。やはり校庭は広くするべきである。
- 10～30年後を見据えて考えると、様々な機能が必要になったときに狭い敷地では実現が難しい。

＜学校図書館について＞

- 浮間中は調べ学習室が狭いと感じた。
- 学校図書館・公共図書館は独立してあるべきだと思う。

＜複合化について＞

- 学校・図書館の両方にメリットがあるような施設を期待する。
- 視察先の2校の良さが西宮中で生かせるか考えていきたい。
- 複合化ありきではなく、意見を出し合って考えていきたい。
- 生徒たちが生涯図書館を使っていくようになってほしい。
- 複合化が成功するためには、人や仕組みなどのソフト面、行政の努力が必要である。
- 日本語指導の観点から、外国人の子どものためには公共図書館との複合化はメリットである。
- まずは中学校優先で何が必要かを考え、その中でスペースができたから何かを複合化させようか、という順番ではないか。
- 高井戸中のような複合化はメリットも多く素晴らしいが、西宮中では敷地の問題が気がりである。
- 今までは複合化のデメリットばかりを感じていたが、視察を通してメリットがあることも聞いて良かった。
- 視察をしたことで具体的なイメージがわいた。
- 高井戸中のように中学校と公共図書館が対等な関係を築くには、敷地が必要であるため、(図書館の)跡地利用を含めて考えてほしい。
- 地下の有効活用や、敷地の拡張、図書館跡地の利用や、図書館をヤングアダルト特化型にするなども考えられるのではないか。